

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	花とハーブの里のにんにく加工品開発プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	花とハーブの里のにんにく生産組合 090-8326-4375
事業区分	(6)イ農業の振興と農村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,465,721 円 (うち支援金： 1,148,000 円)

事業内容

1. にんにく加工品開発プロジェクト事業
 - ・にんにく加工品の試作品開発。収穫したにんにくを黒にんにくに加工し、パッケージの選定、パッケージデザインの新規作成、袋詰め、を行った。
 - ・加工に適したにんにく種子の確保と栽培。嘉定種、小谷にんにく、の種子を購入し、植付け栽培。
 - ・にんにく栽培研修会、加工業者の視察研修の実施。
 - ・作成した黒にんにくを使った商品開発。
 - ・加工前にんにくの乾燥品質向上の為に水分計の購入、組合員のにんにく水分の測定。
 - ・加工した黒にんにくの栄養成分分析調査。
 - ・販路開拓調査、サンプル品の購入。
 - ・生産力アップの為に産地視察研修。
 - ・農業改良普及センターと連携。



【講習会の様子】

事業効果

- ・地元の伝承野菜である小谷にんにく、ホワイト6片と、ジャンボにんにくで黒にんにく加工を実施したが、小谷にんにくは大変味が好評だった。
- ・また成分調査では、小谷にんにくはホワイト6片と同じ栄養成分である事が分かった。
- ・黒にんにく加工品を袋詰めまで行い、商品に近い状態まで作り上げる事ができた。
- ・新しい組合員と産地視察と加工施設の状況を共有できた事で、さらなる生産意欲を増す事ができた。
- ・水分計の購入により腐敗などを防止する事ができるようになった。
- ・糖度計の購入でにんにくのバラツキが分かり、生産技術の向上が期待できる。糖度は38~42もあった。

【目標・ねらい】

①本場の生産地である青森県の気候に似ている安曇野・大北地域で、農家の所得向上の為に、新たな特産品として、にんにく加工品の商品開発販売に取り組む。特に消費期限が長く栄養成分の高い黒にんにくに力を入れている。

※自己評価【 A 】

【理由】

令和元年6月の収穫は、前年度に比べて結果はよかった。それから作られた黒にんにくも大変好評で、伝承の小谷にんにくは黒にんにく加工は大変適していると確信が持てた。

今後の取り組み

引き続き黒にんにくの加工品のレベルアップに取り組み、洗練された商品開発に取り組む。また今年の収穫結果と、黒にんにくの栄養成分分析をにんにくの特有成分にまで広げ、黒にんにくに適した種類が、嘉定種なのか小谷にんにくなのか、小谷にんにくと嘉定種の中で、黒にんにくに適した種類の選択と生産割合の算出に取り組んでいく。パッケージデザイン開発と新商品開発にも力をいれていく。